



# お役に立ちます! お知らせ & 募集特集



低コスト耐震改修工法の公開実験の様子

## 住宅耐震化フェア

○「耐震改修事例コンペ」や「地震に強い住宅の夢、図画コンクール」の入賞作品の展示

日時:1月27日から2月8日まで  
(午前10時から午後5時まで、月曜休館)  
場所:名古屋都市センター11階 企画展示コーナー  
なお、耐震改修事例コンペの結果や地震に強い住宅の夢、図画コンクールの入賞作品は、下記ホームページでご覧いただけます。  
ホームページ(<http://www.aichi-gensai.jp/>)

## ○ストローハウスコンテスト

日時:2月7日 午前10時から正午まで  
場所:名古屋都市センター11階 大研修室

## ○親子で耐震を考える市民講演会

日時:2月7日 午後1時30分から午後3時30分まで  
場所:名古屋都市センター11階 大研修室

お問合せ:建設部建築指導課 052(954)6587

## お知らせ!

### 愛知建築地震災害軽減システム研究協議会のお知らせ

愛知建築地震災害軽減システム研究協議会は、愛知県名古屋市名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学や関係建築団体等で構成され、低コスト耐震改修工法等の地震災害対策の研究、耐震改修

修の技術的な知識の普及などの活動をして、この活動の環として平成21年1月27日から2月8日まで名古屋都市センターにて「住宅耐震化フェア」を開催します。  
「住宅耐震化フェア」では、耐震構造が勉強できるストローハウスコンテストや親子で耐震を考える市民講演会等の多彩な行事を開催します。  
住宅の耐震化のヒントがまった「住宅耐震化フェア」にお越しください。

## 伊勢湾台風50年



愛知県に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風は、昭和34年9月26日に愛知県に最も接近し、高潮・暴風・大雨等により、県内の死者数が3,000人を超えるなど、他に類をみない大災害となりました。  
被災から半世紀が経過し、被災体験者や遺族などの関係者は減少する一方で、伊勢湾台風を知らない世代が時代の主役となりつつあります。  
被災から50年の機運を盛り上げるためのロモマーキを作成するとともに、伊勢湾台風に関する各種資料や伊勢湾台風50年関連



伊勢湾台風50年

検索

お問合せ:防災危機管理課 052(954)6190

## お知らせ!

### 伊勢湾台風50年事業について

愛知県に甚大な被害をもたらした伊勢湾台風の襲来から今年で50年となり、伊勢湾台風は、昭和34年9月26日に愛知県に最も接近し、高潮・暴風・大雨等により、県内の死者数が3,000人を超えるなど、他に類をみない大災害となりました。  
被災から半世紀が経過し、被災体験者や遺族などの関係者は減少する一方で、伊勢湾台風を知らない世代が時代の主役となりつつあります。  
被災から50年の機運を盛り上げるためのロモマーキを作成するとともに、伊勢湾台風に関する各種資料や伊勢湾台風50年関連

の事業を紹介するためのホームページを開設しました。  
県民の皆様におかれましても、この機会を捉え、伊勢湾台風やそこから得られた教訓について学び、災害への備えを万全にしたいだけ幸いです。

## ガス機器使用時は必ず換気をしましょう!

ガス機器を使用する場合は、空気が不足すると不完全燃焼を起こし、人体に有害な一酸化炭素が発生します。次のことに注意しましょう。

- チェック1 換気** ガス機器の使用中は、必ず換気扇や排気ファンを動かしましょう。
- チェック2 清掃** ガス機器の給排気口や排気装置の吸い込み口は油やホコリがたまりません。いつもきれいに清掃しましょう。
- チェック3 点検** 煙突(排気筒)のいたガス機器を使用の場合、煙突が外れることにより死亡事故に至る可能性があります。また、ガス機器については、ガス販売店などが定期的な点検を行っております。必ず受けるようにしましょう。

お問合せ:防災局消防保安課 052(954)6197

## 防災クイズ

非常持出品としての食料や飲料水。何日分以上の準備が必要でしょうか?  
(ヒント:答えは記事のどこかにあります)

応募要領 ①ハガキに①クイズの答え②氏名③年齢④性別⑤郵便番号⑥住所⑦電話番号⑧あいち防災通信をどこでご覧になったか⑨ご意見・ご感想を明記の上、〒460-8501(住所記載不要)愛知県防災局防災危機管理課「あいち防災通信防災クイズ係」までお送りください。(締切:3月16日 当日消印有効)  
正解者の中から抽選で10名様に、災害時に活躍する「緊急避難持出品ポーチセット」をプレゼントします。  
なお、当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。  
※いただいた情報は、より良い誌面作りのための集計分析にのみ使用します。

## 募集

あなたの町の自主防災会の取組について、あいち防災通信や愛知県防災局のホームページで紹介してみませんか?

応募方法は、以下のとおり。応募していただいた自主防災会には、地震防災に関する様々な知識を学ぶことのできるDVD「あっ!どうする?そなる前の防災対策」をプレゼントします。(先着200枚)地域の防災活動にご活用ください。

応募要領

- 応募様式  
自主防災会紹介・応募ホームページから応募様式をダウンロードしてください。(ホームページのアドレスは下記のとおり)
- 記載内容  
(1)自主防災会名称  
(2)応募者氏名、連絡先住所・電話番号等  
(3)自主防災会の活動内容(800~1600字)  
防災活動に関する写真(2~3枚)を添付
- 送付先  
(1)郵送の場合  
〒460-8501(住所記載不要)愛知県防災局防災危機管理課「自主防災会紹介・応募係」あて  
(2)電子メールの場合  
bosai@pref.aichi.lg.jp  
メールの件名欄に「自主防災会紹介・応募」と記入

お問合せ  
防災局防災危機管理課 052(954)6191 詳しくは、自主防災会紹介・応募ホームページ([http://www.pref.aichi.jp/bosai/zisyubou\\_shoukai/oubo.html](http://www.pref.aichi.jp/bosai/zisyubou_shoukai/oubo.html))をご覧ください。

## あいち防災協働社会 推進協議会から

「あいち防災協働社会推進協議会」の委員から「防災」について専門的な見地から意見を伝えるコーナーです。

今回は、NPO愛知ネットの天野竹行理事長にお話を伺います。まず、NPO愛知ネットの防災に対する取組を教えてください。

平成11年に「すべての活動は災害時の情報のために」を合言葉にNPO愛知ネットを設立しました。一般住民向けの情報提供の手段として、安否確認システム「あんメール」、

在日外国人向けとして、電話通訳システム「いつもトリック」などの事業を行っています。また、「愛知青年の家」の運営に携わることによって若い人たちの防災啓発なども行っています。「防災互助の助け合い」という視点で、どのような活動をされていますか?

NPO愛知ネットは、刈谷市等の市民活動センターの運営にも携わっています。その市民活動センターには、子育てサークルや生涯学習、福祉等の分野の団体があります。そういった団体の団体が集まっています。そういった日頃は防災に関わっていない団体にも声をかけ、「遊防災(あそぼうさい)」というものを開催しています。「遊防災」というのは、例えば、避難所運営体験をメインにした時には、婦人会が炊き出しの方法を教えたり、防災リーダーがトイレの問題を話したり、子供向けには防災カルタ大会を行うなど、色々な団体が楽しみながら防災について学ぶ機会としました。

色々な方とお話していますと、自分だけは被災しないと考えておられる方が多いように感じます。そういった方が「自助(自分のことは自分で)」と声高に言ってもなかなか進みません。例えば、そういった場合、他人のためにと考えるとどうでしょうか。子どものために、孫のために、「近所(お老人のために)」といわゆる「共助(お互いの助け合い)」の精神です。そう考えていくと、当然自助の精神が、「自助」につながっていくということです。

た。様々な団体の防災に対する考え方を。自分たちのやらなければいけないことが明確になり、お互いに助け合うポイントなども分かってくると思います。

今回の特集のテーマは、「東海・南海地震に備えて」ですが、何か備えるにあたって心がけることなどはありますか?

色々とお話をしていますと、自分だけは被災しないと考えておられる方が多いように感じます。そういった方が「自助(自分のことは自分で)」と声高に言ってもなかなか進みません。例えば、そういった場合、他人のためにと考えるとどうでしょうか。子どものために、孫のために、「近所(お老人のために)」といわゆる「共助(お互いの助け合い)」の精神です。そう考えていくと、当然自助の精神が、「自助」につながっていくということです。